

nagai

ながい

市議会だより

(2011)
平成23年8月
第94号



今年も元気に 長井おどり大パレード

7月2日、今年も夏の夜の祭典「長井おどり大パレード」が、各地区・各団体約1,900人が参加し盛大に開催されました。

“シャシャンとなソレ”のかけ声は、大震災復興へのエールに聞こえました。

おもな内容

ページ

- ◆議会新体制 2
- ◆6月定例会の焦点 3
- ◆一般質問 3～6
- ◆予算特別委員会 6～7
- ◆常任委員会の焦点 8

発行／長井市議会 編集／ながい市議会だより編集特別委員会 TEL(0238) 84-2111

長井市議会ホームページ <http://www.city.nagai.yamagata.jp/gikai/>

この議会だよりは環境を考え再生紙を使用し、議員の自主編集で発行しています。

新体制でスタート

新正副議長あいさつ

議長 蒲生 光男
副議長 安部 隆

このたび、5月臨時会において議員全員のご推挙を賜り、議長、副議長という重責を担わせていただくことになりました。任期中精一杯努力してまいりますのでよろしく願います。

地方議会改革が叫ばれて久しいわけですが、これまで長井市議会でも、インターネットによる議会中継の実施や研修会の開催など、議会改革に大きく踏み出したと思っています。今後は、議会報告会の開催や議員間討議を活発にして、議会の活性化に向けより具体的に改革を押し進めていきたいと思っています。

また、比較的審議案件が少ない6月定例会を提案議会と位置付け、積極的な議論が図られるよう努めてまいります。

去る4月24日執行の市議会議員選挙において16名の議員が当選しました。その後、5月臨時会及び6月定例会で以下のとおり議会の体制が決定されました。



【常任委員会】

【総務】

◎我妻 昇 ○竹田 博一 蒲生 光男 小関 勝助 渋谷 佐輔 大沼 久
安部 隆 小関 秀一

【文教】

◎高橋 孝夫 ○江口 忠博 佐々木謙二 町田 義昭 大道寺 信 今泉 春江
梅津 善之 赤間 泰広

【厚生】

◎大道寺 信 ○小関 秀一 蒲生 光男 高橋 孝夫 渋谷 佐輔 安部 隆
佐々木謙二 今泉 春江

【産業・建設】

◎小関 勝助 ○赤間 泰広 大沼 久 町田 義昭 我妻 昇 竹田 博一
江口 忠博 梅津 善之

【議会運営委員会】

◎渋谷 佐輔 ○大道寺 信 高橋 孝夫 安部 隆 竹田 博一 小関 秀一

【一部事務組合等議会議員】

置賜広域行政事務組合議会

蒲生 光男

小関 勝助

高橋 孝夫

西置賜行政組合議会

渋谷 佐輔

我妻 昇

竹田 博一

今泉 春江

置賜広域病院組合議会

蒲生 光男

佐々木謙二

大道寺 信

山形県後期高齢者医療広域連合議会

蒲生 光男

【ながい市議会だより編集特別委員会】

◎竹田 博一 ○小関 秀一 大沼 久 町田 義昭 今泉 春江 赤間 泰広

◎委員長 ○副委員長

6月定例会の焦点

5月17日に臨時会、6月6日から29日までの24日間にわたり6月定例会を開催しました。

定例会では、報告3件、一般議案4件、一般会計他2件の補正予算について審議を行いました。そのうち「一般会計補正予算」については「長井市パークゴルフ場」の施設設備整備資金貸付金を減額修正して可決しました。追加提案された人事案2件、議案案1件を含むその他の議案は全て原案どおり可決しました。

平成23年度一般会計補正予算を修正可決

一般会計補正予算では、長井市パークゴルフ場の施設設備整備資金として、当該施設の指定管理者となる予定の団体に對する貸付金400万円が計上され提案されました。

予算特別委員会において、①本来、公の施設の管理を行う指定管理者が、管理のみならず、施設設備の整備まで行うことができるのか。地方自治法の規定によれば、公の施設の設置主体が地方公共団体であることは疑う余地のないところである。したがって、住民の福祉の増進を目的に設置される公の施設は、市が責

任をもって整備すべきである。

②長井市体育施設条例に公の施設の一部である体育施設を指定管理者に管理させる場合に必要事項が規定されているが、この規定を見る限り、パークゴルフ場の施設設備の整備を指定管理者が行うことは不可能であると解さざるを得ないとのことから、関連部分を減額した修正案が委員から提案されました。

採決の結果、全員一致で修正案を可決しました。

「のがわクラブ」を指定管理者に指定

パークゴルフ場の管理を行う団体として「のがわクラブ」を指定する議案が提案されま

人事

監査委員の選任に同意

堀越 俊一郎 さん
(新町12番27号)

大沼 久 さん
(上伊佐沢2865)

固定資産評価審査委員の選任に同意

後藤 好香二 さん
(成田3102の16)

した。「指定管理者として、のがわクラブを指定することに反対ではないが、市の対応が不十分である」また、「使用料収入は市で徴収し、指定管理者には指定管理料を支払い、市が使用料収入から整備を行うのが本来の姿であると考えらるかどうか」などの質疑がなされました。文教常任委員会や一般質問、総括質疑において活発な議論が交わされ、採決の結果賛成多数で可決しました。

一般質問

市政全般について
市当局に考え方や
方針を質問します



小関 秀一
議員

本市の防災計画の検証について

答 弁 着手
防災計画の見直しに

Q. 今般の東日本大震災と原発事故の体験から、安心して暮らせる防災のあり方が問われています。特に災害時の市民への情報伝達方法の検証、長井ダムの耐震調査の公開を含む水防の課題や、原発事故に伴う放射能の検査、公表、そして危険値の判断と対策について伺います。

A. 市の防災計画については、今年度から新たな計画の策定に向け準備を進めています。市民の皆様への情報伝達方法



学習プラザ運動公園建設予定地

が一番の課題であり、見直しを図るとともに、FM放送局も検討したいと考えています。

Q. 本年より工事着手予定の防災機能付学習プラザ運動公園の市民への周知が全くありません。市民が利用しやすいように、防災機能との使い分け、人工芝や夜間照明などの課題についてどう計画されているのか伺います。

A. 三種公認の陸上競技場、天然芝のサッカー場、備蓄倉庫や多目的広場等を整備する計画で、夜間照明も検討しています。今後、広報誌や設計説明会でお知らせいたします。

Q. 食糧生産基盤の整備とTPPは、本市農政の大きなテーマです。循環型農業の推進

や後継者対策、農地・水・環境保全事業への対応を伺います。

A. 地域社会として循環のレインボープランを活かす取り組みを進めます。農地・水の向上対策は、県、土地改良区との調整の上取りまとめます。また、農業に意欲的な方には市として支援制度を考えます。



今泉 春江
議員

国保税の引き下げと身近な住宅補助制度に

答 弁 国に国保負担を強く要請住宅補助の予算増額も

Q. 国保税の引き下げが市民の強い願いです。それなのに今年度から国保税が平均 17%、課税限度額も 4 万円引き上げられます。もう限界であり、真剣に引き下げを図るべきです。国保税が上がるのは、国が負担を減らし被保険者に負担をかぶせていることが最大の要因です。市は何よりも国に是正を強く要請すべきで

はありませんか。

また、窓口負担の滞納状況を把握し減免すべきだし、健診の徹底、市民の食生活改善、健康づくりを図るべきです。

A. 市長会では、国民生活を一番知っている市の立場を国にしつかりと言うこととしており、国保についてもきちんと要請します。窓口負担滞納の実態は把握していません。徴収猶予と減免について、失業者などに対応しています。現在 30% 弱の国保加入者の受診率を引き上げるため、健診日を 10 日増やし、市内 3 医療機関で個別健診ができるようにしました。食生活改善、健康増進に一層努力します。

Q. 4 月から実施の住宅新築、増改築補助制度の利用拡大のため、市民と業者への周知徹底を図るべきです。また対象工事額 50 万円以上を引き下げ、補助率を上げて所得の少ない人も利用でき、予算も増やし、手続きも簡素化して使い勝手を良くすべきです。

A. この制度の利用を勧める PR に努めます。工事対象金

額や補助率については、今後の状況をみて見直し、予算も増額補正を検討します。手続きの簡素化も努力します。



江口 忠博
議員

レインボープランの評価について

答 弁 協働によるまちづくりを進める

Q. 長井市が今後持続的な発展を遂げるためには「支えあい」が巡る社会」という、レインボープランが唱えてきた理念が一層の具体化を伴って発揮されるべきと考えますが市長の所見をお聞かせください。

A. 「共助」という考え方に基つき、レインボープランの理念とともに、協働によるまちづくりを市民の皆様のご理解を得て広げてまいります。

Q. 「長井市まちづくり条例」による「政策評価」の実施例と公表例を示してください。また、「協働のまちづくり」推進のためにも、政策評価に

は市民も加わるべきと考えますがいかがですか。

A. 事業事業評価を積み上げて実施計画書を策定し、総合計画の実施状況として公表しています。市民の皆様の参加方法については検討中です。

Q. 公設公営の「おらんだ市場菜なポート」の評価は、売上額のみならず、市民に何を伝え、また何が伝わったのかという点も重要と思いますがいかがですか。

A. レインボープランの循環の理念を農産物という目に見える形で提供できたこと、生産者が消費者の声を直接聞く機会を得たことだと考えます。



コンポストセンター

Q. 平成 16 年に法制化された「学校運営協議会制度」は地域の再生にも寄与する考えますが、今後設置する考えはありますか。

A. 学校評議員をより充実させ、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指す方針で、協議会の設置は、県教委の考え方をみながら検討します。



大道寺 信
議員

自主防災組織のあり方は

答 弁 本格的実施に向けて進める

Q. 自主防災組織は、まさに災害の最前線現場であり重要ですが、実態としては十分に機能するものになっていないと思います。今回の大震災は平日の日中に起きましたが、在宅していた人がほとんど高齢者であり、中核を担う人の多くは働いていたというのが実態です。いつ起こるかかわからない災害に対応した自主防

災組織のあり方について検討していくべきと考えますが、見解をお聞かせします。

A. 自主防災組織を全地区にそれぞれの実態に合ったように作っていただいて、かつ地域消防団や地区長、民生委員児童委員等の組織と一体的にそれぞれの地域に有機的につながっていないと、いくら計画で書いても全く絵に描いたもちになるだろうとの考えから、21年度からその準備に入り、今年度から本格的に実施に向けて進めていきたいと考えています。

Q. 今回の震災により、電力需要のピークである夏の電力不足は深刻な状況にあることから、電力会社では15%の節電協力を要請しています。山形県でも「山形方式節電」に取り組みしていますが、長井市の取り組みはどのように考えていますか。

A. 長井市として市民に独自のものをお願いするのではなく、県と東北電力からの要請内容を市報や資料等を配布してお知らせし、市民からの協

力をお願いするというのが基本的なスタンスです。



赤間 泰広
議員

野川左岸の築堤について

答 弁
強力な要望活動の実施

Q. ダムは、災害という別の観点から考えると人間がしっかりと管理していかなければならないことはいまでもありません。

そこで、未整備の堤防がある野川の左岸においては、防災という面から見れば早急に整備をしなければならぬものと思います。事実、過去において甚大な被害が起きているわけですので、強力に県・国に要望していくべきと考えますが、今後の取り組みについてお聞かせください。

A. 長井ダム建設工事との一体工事が叶わず、平成21年から市の重要要望として関係機関に要望してきましたが、公

共事業の抑制などから非常に厳しい状況にあります。しかしながら先の東日本大震災を教訓とし、改めて築堤の重要性を訴えながら継続して強く要望してまいります。

Q. 今回の震災により生産活動に大変な支障をきたしています。まさに今こそ企業が生産拠点の見直しをするよい機会だと思います。「太平洋側から日本海側へ」であります。今後企業誘致に対してどのような取り組み、活動をされていくのかお聞かせください。

A. 今年度は商工会議所の受注開拓推進事業を支援するとともに、企業立地促進等補助金の創設によって、立地等を希望する企業に対する支援体制を構築することができました。また、「ふるさと大使」を活用して、さらに積極的な営業活動を行い、企業誘致に取り組んでまいります。



高橋 孝夫
議員

パークゴルフ場整備は市がまず展開すべき

答 弁
指定管理者から要請を受けたもの

Q. 置賜野川右岸に県が整備していたパークゴルフ場が市に移管になり、市は「のがわクラブ」という団体を指定管理者として管理運営を委ねようとしています。

通常であれば、開設に当たり必要な工事や機械購入、コース用備品等は当然市が整備するわけですが一切なされていません。教育委員会ではどう整理し判断されたのですか。

逆に、市は団体に400万円を貸し付け、団体はこの借入金で諸整備等を展開し、3年間で返済するという計画書が提出されています。その計画では、利用者が年々増えるの見込む等、無理が多い内容と感じます。まず、市が必要な整備や用具・備品の購入をきちんと行い、団体には負担

をかけない方法を研究していくことが大事と考えますがいかがですか。

A. これまで体育施設の整備、備品等は、行政が設置、整備してきています。長井市パークゴルフ場については、数年間の利用収入で管理運営費プラス設備費や備品の整備費用も十分に見込めると判断しました。指定管理者がパークゴルフ場を管理運営していく上で必要となる整備、備品も含めて指定管理者側が整備することにしたものです。

400万円の貸付金は、のがわクラブから要請があったものです。パークゴルフ人口の増加、それに伴う利用収入を見込んでのものであり、長期的に見た場合は十分対応できるものであると考えています。





我妻 昇
議員

超高齢社会に対応し
投票所の見直しを

答 弁
現状にご理解を

Q. 長井市の高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）は最新のデータで29・1%に達し、県内13市の中で2番目の高さとなっており、いわゆる超高齢社会に突入しています。これからの地方自治体は、この問題にどう対応していくのかが問われていると思います。民生委員児童委員制度、交通対策、除排雪、防災計画など見直すべきことは多々ありますが、ここでは投票所の見直しを取り上げたいと思います。投票所が遠くなったので行く事ができない。足腰が悪いので投票をあきらめたという声を多数聞きました。このような方々は、社会参加することができない現実には悔しい想いをしているのではないのでしょうか。期日前投票所を含め

投票所の増設を検討すべきだ
と思いますかがですか。

A. 期日前投票所を2箇所以上設置することは制度上可能ですが、二重投票などが懸念され、適正な選挙管理に影響があると考えています。また各投票所は平成6年2月の見直しで21箇所から19箇所に減少しましたが、中央地区は4箇所から6箇所に増設しました。投票区域内における選挙人名簿登録者数が大きく変動した場合に限り、見直してきたいと考えています。高齢者には不便な面もあると思いますが、市民に定着した投票所でありますので、現状にご理解をお願いします。



期日前投票の様子



梅津 善之
議員

実際に即応した
防災訓練を

答 弁
大震災の教訓を活かし
地元の皆様と相談しながら

Q. 長井市総合防災訓練の内容が型にはまったものとなっているのではないですか。ライフラインが寸断された状態での連絡体制、住民の安否確認はどうするのかなど、一つ一つクリアしていくことが大切だと考えます。

もつと住民の提案に耳を傾け、実際に即応した地域の防災訓練が実施されることを望みます。市長はどうお考えですか。

A. 防災訓練のメニューについては、自主防災組織や地区長連合会のみなさんをはじめ、各種団体の方とご相談をさせていただきたいと思っています。

今年度の訓練は平野地区が対象となりますが、早期に地元のみなさんと意見交換を行い、訓練の方法や内容等につ

いて、行政だけではなく、地元の皆様で考えていただくような形式、形態をぜひ確立するように努力してまいります。

Q. このたびの大震災で、知人を頼りに避難された方が、避難所幹旋の担当窓口がわからない、また、受け入れてもらえなかったという話を聞きました。

非常時においても全職員が

対応できるような対策を検討すべきだと考えますがどうですか。

A. 県外からの避難者の受け入れということについては、想定をしておりますでした。このたびの大震災の教訓をもとに、避難者の受け入れや支援のあり方など防災計画の中に活かしてまいります。

予算特別委員会総括質疑

次世代に負担の少ない 学習プラザ運動公園を

町田義昭委員 陸上競技場がメインで他に多目的運動広場が整備されますが、この陸上競技場の三種公認にこだわった理由は何ですか。また、競技場内サッカー施設は天然芝生と義務付けられているそうですが、維持、管理はどのように考えていますか。

教育長 今の中体連の大会は米沢市の施設をお借りしています。せつかく整備するのな

ら、県高校陸上選手権大会ができるものと結論付けました。また、滞在型事業として経済効果が見込めるだろうという理由で三種公認陸上競技場の設置となりました。芝生の養生については、専門業者への委託を考えています。

委員 多目的運動広場については「市民がいつでも自由に利用できる」とあります。安全面で不確定要素があると思いますが心配はありませんか。

生涯スポーツ課長 多目的広場といってもさまざまな競技

が混在しての利用は危険が伴うと考えます。安心できる空間づくりに努力します。

清水町浄配水場跡地のふさわしい活用を

高橋孝夫委員 はなぞの・清水統合保育園建設用地とされる清水町浄配水場跡地には、未登記の土地が存在することですが、どうなりますか。

上下水道課長 推定相続人の方と、土地売買契約を踏まえ所有権移転登記ができるよう協力をお願いしていますが、いつになるかはわかりません。
子育て支援課長 未登記の土地に建物を建てないという方法で考えています。

委員 また、水道の導水管もあるのではないですか。

上下水道課長 隣地境界沿いに敷設替えをしたいと考えています。

委員 平成19年3月定例会で、「次期配水場更新時の用地確保と、災害時の緊急避難所として維持管理したい」と答えています。こういう活用こそ

大事なのではないですか。

市長 50年のスパンを考えれば水道事業計画に支障をきたすことはないと考え、水道料金値上げを遅らせることができると判断し、この用地がふさわしいと決定しました。

エネルギーの地域自給について

江口忠博委員 エネルギーの地域自給が必要な時代と考えます。市民の皆さんが実感している長井の豊富な水を利用した「小水力発電」に本格的に取り組むべきと考えますが、市長のご所見をお聞かせください。

市長 長井で自然エネルギーを活用するには「小水力発電」が一番ふさわしいと思っています。現在、企画調整課でもいろいろ調査をしており、国内の状況を調べ「小水力発電」の可能性について検討しているところですが。

委員 「小水力発電」には地元の技術力を活用すべきですし、バイオマス利用も必要

と思いますがいかがですか。
市長 何としてもバイオマス資源の活用を推進しなければと思っています。県からも計画を作ってほしいとの声があります。検討委員会まではいかずとも懇談会のようなものを設け、長井に合った活用する方法をじっくりと検討していく必要があると思っています。

公の施設の管理委任と施設整備に貸付は疑問

小関秀一委員 平成22年度完成の長井市パークゴルフ場の指定管理者の指定にあたり、市民が利用しやすい施設整備（水飲み場・看板・芝刈機等）は、設置者である市が備えるべきと考えます。

市長 受注者自らがその管理権限を有するものであり、利用拡大のための備品の整備は受注者が行うと考えています。

委員 他の体育館施設も含め、多くの市民が十分に楽しめる場の最低限の整備は、設置者たる行政の役割と考えますが、

その整備のために指定管理者に400万円を貸付ける補正予算には納得いきません。

教育長 「のがわクラブ」の要望を聞き、600万円程の整備が必要とのことですので、400万円を市が貸付けし、利用拡大のためにグレードアップすることで予算化しました。当初市では、整備に254万円を予定したのも事実です。備品や附帯施設は管理者の負担で整備することも可能です。

施設整備は市の責任で

我妻昇委員 長井市パークゴルフ場は公の施設（体育施設）であり、当然にして市が整備しなければならない施設であります。しかしこのたび、指定管理者制度において「のがわクラブ」に対し管理運営ばかりか施設整備までもさせようとしています。このようなやり方では市の責任を放棄していると言わざるを得ません。地方自治法及び市の体育施設条例に抵触することにもなる



長井市パークゴルフ場

のではないのでしょうか。水飲み場、樹木の設置、スタート台の設置などの施設整備は市の責任でしっかり行うべきだと思いますがいかがですか。
市長 市としての責任を放棄しているわけではありません。「のがわクラブ」が希望する整備は、必ずしもパークゴルフ場に必要なものではないと思います。管理する団体の意思であり、市としては備品であると考えていますので、法や条例に抵触するものではありません。

常任委員会

の焦点

総務

「市税条例の一部改正」は、今般の東日本大震災による緊急の対応として講じられた被災納税者の雑損控除の特例、住宅ローン減税特例、住宅地の課税軽減特例等、地方税法の一部改正を受け、市税条例の一部を改正するため提案されました。

文教

「致芳小学校校舎耐震補強・附帯改修工事（建築工事）請負契約の締結について」は、IS 値構造耐震指標 0・3 以上 0・7 未満の建物は震度 6 強以上の地震で倒壊する危険性があるため、IS 値を 0・7 以上にするという文部科学省の基準に則って行う工事であるとの説明を受けました。

9 月定例会の予定

(開会は午前 10 時)

- 8 / 30 (火) 議会運営委員会
 9 / 1 (木) 本会議 (開会)
 6 (火) 本会議 (一般質問)
 7 (水) 本会議 (一般質問)
 8 (木) 本会議 (一般質問)
 9 (金) 総務常任委員会
 12 (月) 文教常任委員会
 13 (火) 厚生常任委員会
 14 (水) 産業・建設常任委員会
 15 (木) 決算特別委員会
 16 (金) 決算特別委員会
 20 (火) 決算特別委員会
 21 (水) 予算特別委員会
 27 (火) 本会議 (表決・閉会)

◎正式な日程は、議会運営委員会で決定します。

「指定管理者の指定について」は、長井市パークゴルフ場の指定管理者として「のがわクラブ」を指定するために提案されました。

討論では「管理・運営能力のあるのがわクラブを指定管理者とすることに反対ではないが、公の施設の整備は行政が主体的に行うべきであり、400 万円を貸付けて指定管理者に任せるという対応は非常に不十分で、今後の指定管理者のあり方にも大きく影響するため反対である」との意見や、「市民愛好者の方が待望されていた施設であり、健康づくり、仲間づくりのため

に一日も早く利用してもらいたい。また、管理運営に関して災害時の対応等、市も責任を持つて協議をするとのことから賛成である」との意見が出されました。

産業・建設

「公共下水道管理センターの建設工事委託に関する協定の締結について」は、同センター建設工事の委託契約をするにあたり、委託金額が 1 億 5 千万円以上になることから、条例の規定により提案されました。

おめでとうございます

【全国市議会議長会表彰】

第 87 回全国市議会議長会総会において、6 名の方々に表彰状並びに感謝状が贈呈され、議長より伝達されました。

★議員 20 年表彰

- ・大沼 久 議員
- ・小関 勝助 議員
- ・鈴木 良雄 様
- ・鈴木 武次 様
- ・藤原 民夫 様
- ・町田 義昭 議員

★正副議長 4 年以上表彰

★地方行政委員会感謝状

【市長感謝状】

5 月 4 日付けで長井市議会議員を退任されました 7 名の方々に市長より感謝状が贈られました。

- ・鈴木 新助 様
- ・蒲生 吉夫 様
- ・鈴木 良雄 様
- ・鈴木 武次 様
- ・藤原 民夫 様
- ・谷口 栄子 様
- ・鈴木 悟司 様

編集後記

女子サッカーワールドカップドイツ大会での、なでしこジャパンの活躍、勇気を与えてくれてありがとう。それにしても暑い。平年より早い梅雨明けとなり、昨年に続き長く暑い夏になりそうです。水分補給をしっかりと、体調管理に気をつけてお過ごしください。編集委員会も新しい体制になりました。自然クーラーのもと編集作業を行いました。市民のみなさんからのご意見をお待ちしています。

ながい市議会だより
編集特別委員会大沼 久 赤間 泰広 町田 義昭
今泉 春江 ◎竹田 博一 ○小関 秀一

(◎委員長 ○副委員長)